中学生による「伝える　HIROSHIMA　プロジェクト」連絡事項

１　平和メッセージ発信用の原稿作成

　⑴　データの入力について

入力する様式は各学校に送付します（「伝える　HIROSHIMA　プロジェクト」のHPにも掲載しています）。**入力する場所に色がついていますので、最初に入力してある見本の文字を削除してから、その場所に入力してください**。（※その他の場所には入力できないようにしています。）

　　※　メッセージ集作成のためのものでもあります。文字のフォント等、原則変更はしないでください。

　⑵　メッセージ発信用データについて

別紙を参照し、英語文と日本語文を入力してください。

　⑶　原稿提出について

①　提出方法　下記のアドレスに電子メールで送付してください。

広島市教育委員会　指導第二課　石原　宛て

アドレス：[ishihara096@e.city.hiroshima.jp](mailto:ishihara096@e.city.hiroshima.jp)　 （学校から送付してもらう場合）

[ishihara-g@city.hiroshima.lg.jp](mailto:ishihara-g@city.hiroshima.lg.jp)　 （個人で送付する場合）

　　　②　提出締切

**令和７年７月２３日（水）締切**

　　　　　※自宅ＰＣが使用できない人は、学校から送付してもらってください。

２　その他

　①　これまでの研修をふまえ、次のことに留意しながら、自分の平和メッセージを修正する。

＜メッセージの内容について＞

・　平和のために自分ができることについて、具体的な内容が述べられたものになっているのか。

・　被爆地である広島の思いや平和への願いや希望が述べられたものになっているのか。

・　平和の実現を世界の人々に広く呼びかけようとするものになっているのか。

・　平和の実現に向け構成や組み立ては、筋道の通ったメッセージとなっているのか。

・　自らの体験や経験をもとに表現しているか。

＜英文について＞

・　単語のつづりが正しいか。

・　主語が明確になっており、文意がはっきりとわかる英文になっているか。

・　代名詞の指すものが明確にわかる文になっているか。

・　文と文のつながりがしっかりとしているか。（論理が飛躍していないか。接続詞を適切に使用しているか。）

・　動詞が欠如した文になっていないか。主語に対応した形になっているか。また動詞が重なっていないか。

・　名詞や形容詞を動詞として使っていないか。

・　年号は数字で記入する。

②　完成した平和メッセージは、第４回事前研修で留学生へ伝えるので、声に出して伝えられるように練習しておきましょう。

　【原稿作成等についての問い合わせ】

　　広島市教育委員会指導第二課　石原・伊木　５０４－２４８７